

科目番号	54027	分類	専門科目 公衆衛生看護学実習	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年
科目名	地域診療所実習 (Practical Training in Community Clinic)					2
						担当シスター
						前期
担当者	○駒田 真由子 他 1 名	区分	必修	単位	1	時間数 45
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連	
【目的】 地域の診療所での実習を通して、地域で生活する住民・療養者の実際を知り、地域で生活していくことへの継続的な支援の方法や保健師として地域医療で求められる医療知識や看護技術について実践的に学ぶ。さらに、保健師として今後地域医療で果たすべき役割について考察する。 【実習目標】 1) 地域医療における診療所の役割を理解する。 2) 地域の診療の場で、住民の生活を守るために医師や看護師や他職種がどのような活動を実施しているのかを学ぶ。 3) 保健師であっても必要な医療知識、看護技術にはどのようなものがあるのかを理解する。 4) 地域医療において保健師として果たすべき役割を考察する。					○	1.地域住民の自立を支える能力
						2.産業保健の対象者の健康増進活動を支援する能力
					○	3.政策や保健事業をプランニング・コーディネーション・マネージメントできる能力
					○	4.疫学・統計学を実践に活かせる能力
					○	5.災害対応や新興・再興感染症への危機管理能力
実習計画						
1) 診療所で医療活動を行っている医師、看護師などから、診療所の概要、スタッフ、地域で果たしている役割、これからの地域医療について説明を受ける。 2) 診療所において、医師による日常の診療の様子を見学し、どんな疾患の患者さんがどのような様子で受診しているのかを観察する。併せて、看護師の業務も見学し、地域診療の場で必要とされる看護技術や医療知識にどのようなものがあるのかを考える。 3) これまでの臨床経験や臨床実習での振り返りを技術経験表等を元に実施し、自身がこの実習を通して実践したい診療の補助行為や療養上の世話をリストアップする。 4) 医師、看護師立ち会いの下、自身のリストアップした診療の補助行為、療養上の世話をを行い、指導者とともに振り返りを行うとともに、自身の看護技術や医療知識の不足部分について省察する。						
事前・事後学習	事前学習：実習先および実習地域について十分な情報収集を行い実習に臨むこと。 事後学習：自身の実習記録や指導者よりカンファレンス等で受けた指導について復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にに取り組むこと。					
評価の方法	実習への参加および目標の達成状況（80%）、レポート課題（20%）から総合的に評価する。					
参考図書・資料等	適宜紹介する。					
履修要件	1 年次に開講されている科目の全ての単位を修得していること。					
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。					